

新入生のみなさんへ

青葉がまぶしい季節となりました。

ただ今入学を許可いたしました（240名）の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ようこそりんくう翔南高校へ。本日より高校生として新しい生活に入ります。希望に胸膨らませながら不安も感じていることでしょう。しばらくの間おちつかない日々が続くと思いますが、心を開いて何でも尋ね、ゆったりと生活に馴染んでいただきたいと思います。さて、みなさんは、ご家族や中学校の先生方、周囲の多くの方々に支えられ今があります。今後も長い人生、周囲への感謝の気持ちを忘れてはなりません。ただし、高校への進学は最終的には自らの責任で決意されたことと思います。高校では国民の義務としての教育状況から大きく変化し、自己責任に裏打ちされた行動が一層求められます。その時、その場で、何をすべきか何をすべきでないのか、どうすることが適切なのか、自分で考え、判断し、自主的・主体的に行動する力を身に付けていってください。

ところでみなさん本校のアドミッションポリシーの内容を再確認しましょう。端的にまとめますと、多様性を理解し自己実現にむかう・思いやりの心をもつ・自らの可能性を信じ夢に向かってチャレンジする・規則正しい生活を確立させ前向きな生活を送る等です。福祉の人として世に尽くした【ヘレン・ケラー】は概ねこのような内容の言葉を残しています。「幸福の扉が一つ閉じられると、別の扉が開く、しかし、閉じられた扉をいつまでも見ているために、開いた幸福の扉に気づかない」中学校時代の学びや多くの人との出会いなど大切な思い出として心に刻みこんだことと思います。義務教育段階の土台は完成しました。さあ、少しの勇気を出し、いくつもある新しい幸福の扉を開いてください。りんくう翔南高校は無量大の可能性に向かうみなさんを全力で支援する教職員が集う学校です。りんくう翔南高校の生徒として努力をあたりまえの姿勢とし新しい学友とともに着実に、そして大きく成長することを期待しています。希望と喜びに満ちた皆さんにお話ししたいことはたくさんありますが【門出】の言葉として特に三つだけお話させていただきます。

一つ目として「心を込めた挨拶をしてください」人は一人では生きてゆけません。支え、支えられ社会の中で生きています。挨拶を交わす事、これは「ここに私はいますよ」「あなたもここにいるんですね」「なにかあったら話してね」などという心のやりとりであり、シンプルであります但共同体をつくるための大切な要件です。心を込めた挨拶を交わしてください。

二つ目として「授業を軸とし、常に学ぶこと」です。社会はライフスタイルの幅が拡大した多様な社会です。多様な社会では答えは一つではありません。経済や雇用、生活環境や安全、教育、医療、福祉、性の捉え方、そして家族のありかたなど多種多様な局面で新しい発想が求められます。そこでみなさんには本校での様々な学びを通して、グローバルな視点で現状を分析・観察し、課題を発見し、その最適な解決策を見出すことのできる確かな学力を身につけていただきたいと思います。現代はインターネット等の普及により必要な知識は瞬時にどこにいても得られる時代であるといっても過言ではありません。その知識をどのような目的で誰のためにどのように使うか、そしてそれにより何を成し遂げようとしているかが問われる時代です。たとえば、外国語が話せる、外国語を学んだ経験がある、外国に行ったことがあるにとどまることなく、地球を一つの地域と捉え、思考し、その地に生きる様々な人々に思いをはせ貢献できる資質を育んでいただきたいと思います。

三つ目は「他者への思いやり」です。自分を大切にするように、他者も大切にしてください。様々な個性や価値観をもった人々によって構成されているこの社会において人間関係の潤滑油となっているのは【思いやり】です。自尊感情の育成、多様な個性を理解できる教育活動をすすめ、全員がいじめや差別など嫌な思いをすることなく共に明るく生き活きと生活できることを願い、みなさんに大きな期待を託します。以上の3点を深く心に刻み、輝く未来に向かってともに歩みだしましょう。

結びにあたり、今日から始まります新入生の皆さんの高校生活が、生涯を通じて交わりを深められる、最良の友・最良の恩師との出会いがあることなど、豊かで実り多いものであることを祈念いたします。

令和2年5月13日

大阪府立りんくう翔南高等学校

校長 藤田 繁也